

YELL



vol.02

発行日

2017.11.22
NOVEMBER

社会福祉法人
岩手県社会福祉協議会
岩手県福祉人材センター

エールは、介護施設・事業所にとってタイムリーで役立つ情報をお届けするとともに、介護の職場で働いている人、働きたい人を応援する情報誌です。



小規模介護事業所
合同面談会

in大船渡(8月)



役立つ情報をお届けします



潜在有資格者
再就職支援講座
in久慈(9月)



P2

評価制度の導入と高年齢者等スタッフが活躍する事業所

P4

《特集》人材確保に向けた取組～高年齢者を積極的に採用～

P6

福祉の職場で働く人にYELL

P8

エールインフォメーション



「人にあえる(会える)」
人と人をつなげること
(マッチング)が大好きな
「あえる」ちゃんも応援しています!



評価制度の導入と高齢者等スタッフが活躍する事業所 『有限会社あつとほくむ』

職員の確保や定着の問題など、多くの事業所は人材に関する問題を抱えていながらも、介護事業所に必要な評価制度を導入している事業所は多くないと思われまます。

求人募集してもなかなか応募者がいないことや、定着促進のために取り組みたいが具体的に悩んでいる事業所も多岐にわたります。人材確保・定着は福祉・介護サービス事業所にとって共通の課題となっています。

そこで、定着のため具体的な取組として評価制度を導入している事業所を紹介します。



- 法人名…有限会社あつとほくむ
- 2004年12月設立
- 盛岡市内に◇ゆめさと有料老人ホーム
- ◇ゆめさとデイサービス
- ◇ゆめさと訪問介護事業所



がある。

『有限会社あつとほくむ』は、「ひとりひとりに寄り添って夢が叶う郷を作りたい」、「いろんな出会いを感動の物語にしていきたい」、「感謝・報恩の気持ちを持って研鑽していきたい」、「モットーに、水と食事にこだわり、心も身体も健康になれる事業所を目指しています。」

「食事はもちろん、おやつも毎日手作りしています。食事がおいしいと食が進み元気になるでしょう。食べ物は一番大事ですよ」と笑顔で話すのは取締役の鈴木幸恵さんです。



取締役 鈴木幸恵さん

◆評価制度の導入

評価制度導入のきっかけは、人の定着が難しいと感じ、前職で働きに依りて昇給するとモチベーションが上がるといふ経験から、社会保険労務士の専門的な意見のもと、事業所に則した評価表を考案しました。評価項目は、コンプライアンス・チームワーク・コミュニケーション・技術面など多岐にわたります。

ひとつの項目を5段階で自己評価した後、リーダー、管理者が公平に皆に見える評価をしています。さらに評価表は初級職、中堅職、上位職の3パターンに分かれています。自己評価は過小評価するスタッフ、逆に過大評価するスタッフもおり、普段の様子や評価のギャップを感じることもありますが、実際に行動していることで評価しています。評価をすることで自分が目指すところを決められますし、各自これをしなければならぬと認識できるようになります。

評価月は年2回。ボーナス支給前に行い、良かったところをメッセージにしスタッフひとりひとりに渡しています。



《人事評価制度とは…》
評価する内容（目標）が事前に示され、達成した人は公平に認められ、給与に反映されることでスタッフのやる気につながり、キャリアアップにつながる仕組み・人材育成を目的とする制度です。

◆導入して良かったところ

皆を公平に評価できることです。事業所内も評価制度だけではないと思いますが、変化が見られます。管理職がスキルアップのため勉強し、

自分たちの意識が変わったことでスタッフの意識も変わり、事業所全体が、同じ方向を向いてきたと感じます。



基本は心。心の部分を大事にすることが求められていることが理解でき、管理者の話していることが受け止められやすくなったと実感しています。導入してから定着率が良くなりました。

◆定着について

退職の理由は家庭の事情や、体調不良が主な理由ですが、メンタルに関してはしっかりとした力

ウンセリング、セラピーを行い、その人に合ったケアをしています。

常にスタッフの様子を気遣い、悩んでいる様子であれば個別にカウンセリングを行います。心も身体も健康でなければならぬという思いから、コーチングや心理療法の資格を有する鈴木さんが、ひとりで悩んで解決できないことも時間を掛けてアドバイスしています。

◆高齢者・知的障がい者が活躍する事業所

有限会社あつとほくむの従業員数は、介護職員30名（生活相談員兼務者も含む）、栄養士・調理員8名、看護師3名、ケアマネジャー3名の約40名。そのうちの2名の77歳の方が介護員、調理員として活躍しているほか、72歳の介護員、60代後半の数名が介護員、調理員としてそれぞれのライフスタ

◆今後施設が目指していること

利用者さんの心を癒せる施設にしたいと思っています。そのためにはスタッフのコミュニケーションスキルなど、身につけて欲しいと思っています。スタッフの成長が会社の成長につながると思っています。

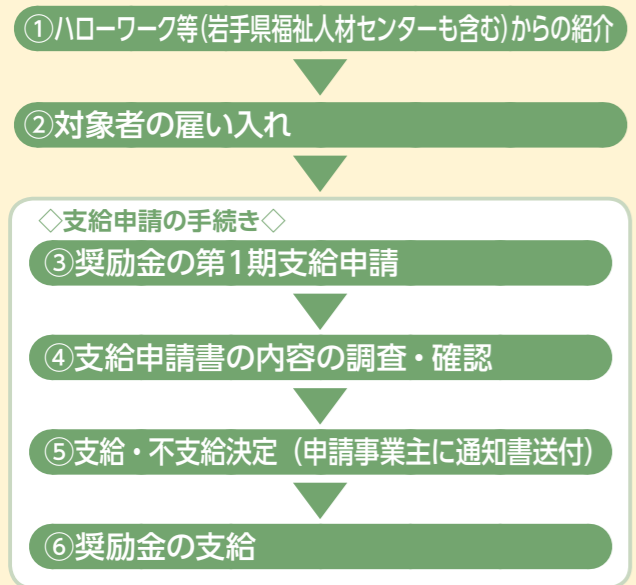
特定求職者雇用開発助成金について

厚生労働省が管轄している助成金の中に、雇用関係の助成金があります。今回は特定求職者雇用開発助成金の中から「特定就職困難者コース」と「生涯現役コース」をご紹介します。数多くある助成金から事業所に合ったものを選び、事業に活かしていただきたいと思えます。

『特定求職者雇用開発助成金』とは、高齢者や障がい者などの、就職が特に困難な者を、ハローワーク又は民間の職業紹介事業者等の紹介により、継続して雇用する労働者として雇い入れる事業主に対して助成するものであり、これらの方の雇用機会の増大を図ることを目的としています。

- ①「特定就職困難者コース」
高齢者（60歳以上65歳未満）や障がい者などの就職が特に困難な者を雇い入れることに対して助成を行う
※満65歳未満の者・紹介日に雇用保険被保険者でない者
※65歳以上に達するまで継続して雇用し、かつ、当該雇用期間が継続して2年以上であること
- ②「生涯現役コース」
65歳以上の離職者を雇い入れることに対して助成を行う
※65歳以上の者・紹介日に雇用保険被保険者でない者
※雇用保険の高年齢被保険者として雇い入れ、1年以上雇用することが確実であること

●支給申請の流れ●



出典：厚生労働省ホームページより抜粋
※詳しくは労働局、ハローワークにお問い合わせください。

人材確保に向けた取組

●高年齢者を積極的に採用『有限会社介護施設あお空』

宮古市に本社を置く介護施設あお空は、県内6市町村で12か所の介護事業所を開設しています。東日本大震災以降、特に沿岸部では介護施設で働く人が不足していることから高年齢者を積極的に採用しており、豊かな人生経験を生かした新たな戦力として成果を得ています。

◎地域密着のサービスを目指す

有限会社介護施設あお空（以下「あお空」と表記）が宮古市の中心部に介護事業を開所したのは平成18（2006）年4月です。以後、高齢社会の進行に伴って介護サービスの需要が高まる中、小規模多機能型居宅介護事業所やグループホーム、高齢者向け住宅が連携する施設を開所して在宅介護を支えるサービスを展開。宮古市、岩泉町、釜石市、山田町の沿岸部から内陸部の遠野市、盛岡市へと事業所を拡大してきました。

「あお空」では、開設当初から「こころやさしく利用者の皆様にも働く仲間たちにも」を運営方針に掲げ、介護が必要になっても住み慣れた地域の中で最後まで暮らせるよう、職員もそれぞれの事業所で地元採用を中心



あお空居宅介護支援センター、あお空デイサービスセンター、あお空ホームヘルプサービスセンターが入る本社ビル

に地域密着型の介護サービスを提供しています。現在、6市町村12介護事業所で働く職員は140名（パートも含む）。女性110名に対し男性は30名と女性が多く、年代別では20代〜30代が40名、40代〜50代が70名、さらに60歳以上は30名となっており（平成28年度）、高年齢者の採用が年々増えていることが特徴です。

◎沿岸部における雇用状況

「当社の介護施設は沿岸からスタートし、高齢社会に対応して平成23年から内陸部の盛岡市と遠野市にも施設を開所してきました。雇用はハローワークの求人を通じて行っていました。特に沿岸部では東日本大震災前とその後では状況が一変してしまいました」と話すのは、専務取締役の中嶋修さんです。

平成23年3月11日、三陸沿岸を襲った未曾有の大地震と津波。「あお空」も宮古市の本社と赤前の事業所が被災しましたが、幸い人的被害はなく5か月後には被災した施設も復旧しました。しかし、津波によって壊滅的な被害を受けた沿岸地域の復興は遅々として進まず、内陸部への避難や仮設住宅への転居者も多いことから、雇用状況にも大きな影響を与えました。「震災前は、例えば20人の募集に対し3倍〜4倍



専務取締役の中嶋 修さん

在、60歳以上は9名（3名職員、6名パート）が勤務しています。今年67歳になる石曾根義雄さんもその1人で、平成29年4月に若手県福祉人材センターの紹介で勤め始めました。現在、あお空ホームヘルプサービスセンターで買い物や服薬の援助など日常生活の世話をしています。石曾根さんは公務員を定年退職して民間会社で働いた後、過去に取得したホームヘルパー2級の資格を活かそうと若手県福祉人材センター主催の介護技術再就職支援講座を受講しました。



石曾根義雄さん

「まだまだリタイアするつもりはないし、働く意欲は十分あるが、65歳を過ぎると仕事を探すのは難しい。もともと福祉に関心があり、せっかく取った資格を生かしたかったので、人材センターさんから今の仕事を紹介してもらいました。趣味もないし、家でぼんやりしているより仕事ができ幸せです」と笑顔で話します。石曾根さんの紹介窓口になっているのが若手県福祉人材センターです。同センターのキャリア支援員である舘洞毅晴さんは、「相談者は未経験者が多いですが、どれだけ福祉や介護に関心を持っているかがポイントになる」と話します。「関心を持っていて方には介護施設での職場体験を勧め、体験した上で就労先を紹介しています。これからもハローワークと連携しながら、



スタッフと打ち合わせ中の石曾根さん

の応募があっただんです。しかも、介護福祉士、介護職員初任者研修の修了者、ヘルパー2級保持者など有資格者も集まってきました。ところが津波の後は激変し、求人を出しても応募者が極端に少なくなりました」と中嶋さんは振り返り、「原因としては復興事業で有効求人倍率が上がり、そちらの給料が高いこともあって介護の仕事を選ぶ人が少なくなつたことと、労働人口が高齢化し、介護の現場の人手不足は全国的な問題になってきたことなどが挙げられる」と分析します。

◎経験豊かな高年齢者を積極的に雇用

震災から6年を経た今、人材確保について「年々難しい状況になっている」と、中嶋さんは話します。そこで、近年とりわけ力を入れているのが高年齢者の採用です。

「高年齢者については平成19年8月、地域密着のサービスを始めた頃から少しずつ採用していましたが、今は必要な戦力として重要視し、積極的に呼びかけています」と中嶋さん。平成25年の60歳以上の採用は女性のみ6名でしたが、平成28年は男性も加えて7名、さらに29年は8名を採用しており、働く意欲のある方を採用につなげていきたいと話します。



中学生の職場体験（宮古市のあお空デイサービスセンター）

■有限会社 介護施設あお空

平成18年4月1日、宮古市向町にあお空居宅介護支援センター、あお空デイサービスセンター、あお空ホームヘルプサービスセンターを開所。

その後、宮古市、山田町、岩泉町、釜石市、盛岡市、遠野市で小規模多機能センターやグループホーム、サービス付高齢者住宅などの介護事業を幅広く展開している。グループ会社に介護施設えくぼ（宮古市）。



あお空小規模多機能センター手代森（盛岡市）

- 人生経験や生活経験が豊かで、それを生かせる場合が多い。
- 時間的に融通のきく人が多く、シフト調整や緊急時に頼れる場合がある。
- 利用者と世代が近いために、コミュニケーションが上手である。
- 当面の人材不足を補うことができる。
- 雇用条件の合意がしやすい。
- 原価意識が身につけている人が多く、伝えなくても経費節減を実践する。



「施設の雰囲気も全体として落ち着きを感じられますし、ほかの職員も接遇やコミュニケーションなどで見習う部分が多いと言っています」と、中嶋さんは手こたえを感じているようです。

◎介護経験者や有資格者の掘り起し

宮古市の「あお空」には、あお空居宅介護支援センター、あお空デイサービスセンター、あお空ホームヘルプサービスセンターの3事業所があり、現

福祉の職場で働く人に YELL



福祉・介護の仕事に携わる人材の確保が難しくなっている中、介護の職場と求職者との橋渡し役を担っているのが福祉人材センターのキャリア支援員です。求職者に対し、必要に応じて、応募の前に施設見学・職場体験の機会をつくる等、きめ細かな支援を行っています。キャリア支援員が関わり、介護の職場に就職した方や異業種から転職した方がたくさんいます。このコーナーでは、希望がかなって今いきいきと働いている方々を紹介いたします。



社会福祉法人 典人会
地域密着型介護老人福祉施設つばきの丘
介護員 伊藤竜也さん
(平成25年8月採用)

伊藤さんと初めてお会いしたのは、平成25年の春でした。地元の高校を卒業後、東京で工業部品工場に勤務していましたが、Uターン後はそれまでとは違う職種に就きたいと考えていたそうです。

施設見学に同行し、「しごと体験」を経て同法人に応募し、採用。現在も頑張っております。

◆福祉・介護の仕事を選んだ理由(きっかけ、地元就職の理由など)

高校卒業後5年間勤めていた製造業は、自分の中で何か、馴染めないというか、違和感がありました。地元に戻って仕事を探す際、母親が介護員として働いていましたし、また親戚にも介護施設で働いている人がいて関心がありました。そんな時、「広報おふなと」で相談会の存在を知

り、相談に行きました。施設見学やしごと体験を通して、利用者さんやスタッフさんの笑顔に出迎えられる、この仕事で頑張ってみようと思えました。

◆仕事の内容は？

入所さんの介助・介護が主です。今担当しているユニットは介護度の高い方が多いので、脱衣介助や入浴介助、食事介助を主に担当しています。

◆日々心掛けていることは？

家族に「おこりっぱい」と言われることもあるので、言葉遣いや表情に気をつけています。先輩や後輩から接遇について学ぶことも多く、良いところは見習うよう心掛けています。それと、嚥下機能が衰えている方がいらっしやるので、特に食事介助には気を遣っています。

◆今後の目標を教えてください

来年の試験に合格して、介護福祉士の資格を取得したいです。そのために現在は実務者研修を受講しています。今後は仕事にも自分にも自信を持てるようになりたいですし、これから入職してくる後輩の手下となる職員になっていきたいです。

《施設からのコメント》

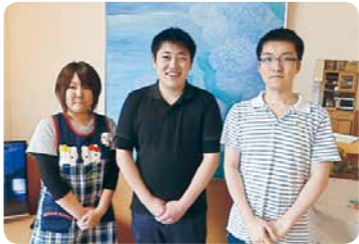


所長
小野寺 真さん

●伊藤さんについて

伊藤さんは職場のムードメーカー的存在です。利用者さんや職員と冗談を言い合って、いつもユニットから笑い声が聞こえてきます。施設の行事や職員の忘年会などでも、その体格の良さを生かした余興で盛り上げてくれます。

はじめはたどたどしい部分もありましたが、今は現場に欠かせない存在で頼りがいのある職員に育って来ています。現在、介護福祉士取得に向けて研修を受講中ですので、ぜひ資格を取得して自信をつけ、さらにスキルアップして行ってほしいです。



●施設について

平成27年4月に開所した3年目に入る当施設は、地域密着型介護老人

に意欲を引き出していただいているからだと思っています。

《施設からのコメント》



管理者 看護師
細川 孝子さん

●小川さんについて

面接でお話した時、「一人ひとり親身になって対応したい」という考えの持ち主だということが伝わり、施設の考えとマッチしていたので、そういう人であればと採用を即決しました。

小川さんは、利用者さんに対しても職員に対しても、とても優しい方です。利用者さんへの声かけなども上手で、無理強いするのではなく、なだめるように声をかけ、利用者さんも心を開いています。「今日は小川さんいないの？」と言われることもありますよ。私たちも頼りにしています。

また、誰に対しても礼儀正しく、挨拶をしっかりとするとともに、信頼や親しみやすさに繋がっているのだと思います。

●施設について

グリーンシティ大町は、医療・介護・介護予防サービスを継続的・一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、平成25年12月に開所しました。医療ニーズの高い利用者様へも対応が可能で、大規模な施設ではないからこそできる一人ひとりに合わせ



福祉施設(29床)と小規模多機能型居宅介護(登録25名)を併設しています。大船渡市末崎町においては初めての地域密着型サービスであることから、利用者本人や家族、そして地域の方々にとっても、利便性はもとよりこの施設がより身近な存在として、安心感をもって利用していただけるような施設づくりを目指しています。

施設の理念として、「自分が利用したいと思える『空間』『時間』『人間』『づくり』」を掲げ、誰にとっても居心地の良い場所を目指して、職員へは失敗を恐れず、まずはやってみようと呼びかけています。

◆担当キャリア支援員よりメッセージ

久しぶりにお会いした伊藤さんの以前と変わらぬ笑顔からは、この4年間で培った自信と責任感、さらに今後の覚悟のようなものが加わっているような頼もしさを感じました。

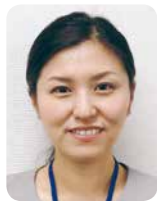


た対応や、きめ細かな介護支援が強みだと考えています。小川さんが働くデイサービスみどりは、10人の職員で対応しており、「安心・安全・楽しい」生活空間を提供しています。レクリエーションでは、一つの活動に偏ることなく、利用者様に楽しんで頂ける企画を職員みんなで考えながら、提供しています。職員同士のコミュニケーションを大切にし、意見を出し合える環境作りを心がけています。

◆担当キャリア支援員よりメッセージ

今年の4月から県南を担当させていただいている矢野と申します。

小川さんは、私の相談者第2号でした。今回の取材を通して、持ち前の親しみやすさと前向きさで、いきいきと働かれている姿を見て嬉しくなりました。影ながら応援しています！これからも、事業所様と求職者様をひとつでも多くつなぐことができよう精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



県南担当
キャリア支援員
矢野 葉子



沿岸(気仙エリア)担当
キャリア支援員
坂本 奈津江

お話を終えた後、「彼女募集中です。」とはにかむ伊藤さん。今後のさらなる活躍を心から応援しています。



株式会社みどり薬局
デイサービスみどり・住宅型有料老人ホーム
グリーンシティ大町
介護スタッフ 小川昌幸さん
(平成29年7月採用)

以前は、異業種の仕事に従事されていた小川さん。お父様の介護を通じて、介護の道へ進みました。介護職を数年経験したのち、さらなるステップアップを考え相談に來られました。

積極的に就職活動をされている中で、相談を通して自分に合う職場探しのお手伝いをさせていただきます。同施設に採用後も、資格取得の情報を得るため相談いただくなど、向上心を持って働かれています。

◆福祉・介護の仕事を選んだ理由(きっかけ、地元就職の理由など)

前職は卸売小売業で働いていましたが、父親の介護を通じ、介護職に興味を持ちました。人と関わる経験



いずれは、介護業務だけでなく相談員など、より利用者さんの生活のサポートに深く関われる職種に挑戦していければと考えています。このような目標を持っているのも職員の皆さま

◆今後の目標を教えてください

日々の業務の中で経験を積みながら、次のステップの資格取得を目指しています。

◆仕事の内容は？

デイサービスで利用者さんの食事をや入浴、排せつの介助、機能訓練の支援などの介護全般をしています。また、老人ホーム入居者の生活支援も兼務しています。

◆日々心掛けていることは？

目の前の一人ひとりを丁寧に対応しながらも、常に全体に目を配ることです。先輩方が常に「鳥の目」で細心の注意を払い全体を見ていることに感服し、自分も先輩方を目指し日々心がけています。

◆今後の目標を教えてください

日々の業務の中で経験を積みながら、次のステップの資格取得を目指しています。

～ 求人票を活用して、事業所・施設のアピール、情報発信をしましょう ～

● 魅力有る求人票とは…

- ① この職場で仕事をしてみたいと思えるか。… ⇒ 事業所・施設の魅力を伝える。
- ② 働いている姿をイメージできるか。… ⇒ 求職者の目線に立った言葉で伝える。
- ③ 欲しい人材の目線で何をどう伝えるか。… ⇒ 興味・関心を持つ職場情報。
- ④ 他事業所・他施設との違いは何か。… ⇒ 明確な事業所・施設情報。
- ⑤ 求職者の不安が軽減されているか。… ⇒ 未経験者、ブランクのある経験者に響く言葉。
- ⑥ 誰が見ても理解できるか。… ⇒ 解りやすく簡潔な表現。



※求職者の方はほぼ100%に近い割合で、他の事業所・施設の求人票を見比べています。今までと同じではなく、下記を参考にして、実際に求人票を作成してみませんか。

● 備考欄の記入例 ↓

【この求人による採用者が従事する事業・就業場所等】

通勤等備考	◎無料駐車場有 ◎■■■駅から徒歩5分 ◎駐車料金■■■■円 ◎駐車料金の補助 月/■■■■円あり
-------	--

【募集条件】

職務内容	◎デイサービスでの介護業務 食事・入浴・排泄介助・見守り・送迎業務あり（ワンボックス） ◎レクリエーション・イベントの企画 ◎記録業務（パソコン使用） ◎ご利用者宅を訪問、生活援助や介護の身の回りのお手伝いをさせていただきます。 ◎ご利用者及び家族への相談援助、介護補助
------	--

募集対象応募条件備考	◎無資格者には資格取得の助成あり ◎運転免許 AT 可
------------	-----------------------------

【賃金・手当等】

その他手当・賃金等備考	◎交通費上限/■■■■円 ◎住宅手当/■■■■円 ◎資格手当…初任者研修/■■■■円 介護福祉士/■■■■円 ◎扶養手当…配偶者/■■■■円 第1子/■■■■円
-------------	---

【勤務体制・社会保険等】

◎勤務日数・時間は相談可能 ◎土日祝日勤務あり ◎夜勤については相談可能

【全体備考】

全体備考 ※自由記述欄です。	※就業先が複数ある場合は、就業先事業所名と住所を記入します。 ◎事業所内保育所あり ◎職員寮あり 月/■■■■円 ◎職場の研修体制が充実しています。 ◎見学、体験対応しています。 ◎10代から70代までの職員が活躍しています。 ◎定員/■■名、入居者/■■名、利用者/■■名 ◎H30.4 ■■■■特別養護老人ホーム開所予定
-------------------	---



備考欄で情報発信！
職場の魅力をアピールする
絶好のチャンスです！！

